

もしものとき、力になるのは地域力

# 地域を 地域が守る。

核家族化や行政区の未加入者が増加し、地域とのかかわりが希薄となつています。しかし、もしものときに大切なのは地域とのつながりや絆。またいつ大震災が発生するかわかりません。そのとき、地域ができることを考えてみませんか。

(写真) 昨年開催した藤久保第3区自主防災会の子ども防災訓練参加者

## 町の防災対策

食糧・生活用品  
平成27年3月現在

アルファ米	25,000食
クラッカー	6,250食
缶入りソフトパン	2,976食
毛布	2,770枚
飲料水用携帯袋	6,100枚
簡易トイレセット	142セット
下着セット	2,400セット
紙おむつ	16,272枚
高齢者用おむつ	984枚
生理用品	19,704個
食器セット	2,286セット
多人数用救急箱	24セット
トイレトペーパー	1,056個
ローソク	1,000本
発電機	14台
浄水機	6台
非常用ラジオ	18台
ロープ	24束
サージカルマスク	20,000枚

### ◆備蓄倉庫

災害時に備え、役場と町内の小・中学校に防災倉庫を整備し、備蓄をしています。平成27年3月現在の備蓄数と数量は左記のとおりです。

### ◆水の確保

災害時の断水に対応するため、各避難所（小中学校）に災害用井戸を設置し、水の確保をしています。

### ◆防災行政無線

災害時、町内全域に迅速かつ正確な情報を伝えるため、町内31か所に防災行政無線を設置。防災行政無線の放送内容については、12時のチャイム、小学生の下校をお知らせする放送、夕方の放送を定期的に行っています。これ以外の緊急放送の内容は「三芳町地域コミュニティメール」と「三芳町 twitter」でお知らせしています。また、緊急情報のページや「発するFM」ホームページ内でも確認できます。



### 【登録制メールで防災情報が届きます】



埼玉県…「埼玉県防災情報メール」で気象警報や地震情報を配信しています。



三芳町…「三芳町地域コミュニティメール」を防災行政無線で放送された情報や、防犯情報などを配信しています。



「特集「if」終わり」  
が地域を守る取り組みを普段から持つことが求められています。今後、もしも大震災が発生したとき、自分の命、地域の命を守るために、防災の日を機会に、一度防災について家族や近所で考えてみませんか。

### もしものとき

近年、人間関係の希薄化が進み、人口減少や平均年齢の上昇などで地域コミュニティの脆弱化が懸念されています。地域防災力を向上させるため、地域で防災について関心を持ち、地域

東 日本大震災では、行政がすべての被災者を迅速に支援することが難しく、行政自身が被災して機能が麻痺してしまうことがあります。そして将来、首都直下地震、東海地震が起こる可能性が高いといわれています。もしそれが発生したとき、備えはしっかりできているでしょうか。

発災後、しばらくの間は、行政の支援を受けずに、地域住民が自発的に避難行動をとったり、地域コミュニティで助け合い、捜索救助活動、避難誘導、避難所運営などを行うことが重要となります。住民一人ひとりや地域の絆、コミュニティ全体が、災害は他人事と思わずに、もしも発生したとしたらと、災害に備え、自分や家族、隣近所で力を合わせてできることを考えることが不可欠です。